住民説明会 資料1-2 財務部公有資産マネジメント課

個別施設方針一覧表

【14_西田】

2025年(令和7年)10月郡山市財務部公有資産マネジメント課

「個別施設方針一覧表」の見方

施設類型	施設名	地区	施設概要		サーヒ゛ス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
1	2	3	延床面積 4	1,444.08㎡	8	9	10	サービス	11) 継続	(3)
1 佳△塩訊	大槻ふれあいセンター	大槻	建築年度(経過年数)	2009 (17)		-	A:継続	リーレス		地区公民館と行政センター等との複合施設であり、地域コミュニティの拠点施
未云肥苡	人物が行るのでピンター	八17兒	構造 6	RC造	同	同	八、和生物心	建物	12 <u>長寿命化</u>	設として、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
			ランニングコスト(年間)	6,763千円				姓彻	双村叩16	

①施設類型	施設の目的・用途等により類似する施設を分類した名称を表示
②施設名	施設の条例等による名称を表示
③地区	施設の所在している行政管区名(市内15地区名)を表示 ※旧市内は、富田と大槻を除く
④延床面積	建物延床面積(複数棟は合計面積)を表示 ※借用施設は面積に含まない
⑤建築年度(経過年数)	主たる建物の建築年度及び次期計画開始年度の2026年度中に迎える経過年数を表示
@#\#	主たる建物の構造を表示 W造(木造)、CB造(コンクリートブロック造)、PC造(プレキャスコンクリート造)、S造
⑥構造	(鉄骨造)、RC造(鉄筋コンクリート造)、SRC造(鉄骨鉄筋コンクリート造)
⑦ランニングコスト(年間)	当該施設の運営や維持管理に係る、人件費、光熱水費、修繕費などの経費
①ハーハ 1/1 (七间)	(2019から2023年度までの5年間の平均額)
●井 バス評価	施設で提供するサービスを利用状況などの定量評価及び法令設置根拠などの定性評価を踏まえたサービス継続の優先度を
⑧サービス評価	「高」・「低」で評価したもの、評価以前に検討すべき課題がある場合は、「中」とし、総合評価を「あり方検討」とする。
	目標使用年数に対する2026年度時点での残使用年数から、長寿命化改修等により延命するか、建替えか解体を検討すべきかを
	「高」・「低」で評価したもの
9建物評価	・高:残使用年数(2026)が20年以上(長寿命化改修による延命が可能)
	・低:残使用年数(2026)が20年未満(改修による延命ではなく建替え、解体を検討)
	・一:建物が無い場合や複合施設の従たる施設の場合等で評価ができないもの
	サービス評価及び建物評価の組合せによる、次期個別施設計画期間(2026~2035)の方針
	・A:継続・施設のサービスを継続し、建物は長寿命化や集約・複合化の検討を要する
	・B:建物更新 :施設のサービスを継続し、建物は更新の検討を要する
⑩総合評価	・C : サービス廃止:施設のサービスを廃止し、建物は転用・譲渡等の検討を要する
	・D:廃止 :施設のサービスを廃止し、建物は解体の検討を要する
	・E:あり方検討 :検討すべき課題があり、施設方針を決めることができない場合の評価
	・ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	次期個別施設計画期間(2026~2035)の10年間におけるサービスの取組内容
	・継続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
⑪取組内容(サービス)	・継続(移転):サービスを他の施設で継続するもの
	・廃止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	・あり方検討 :検討課題について整理後に、サービスの継続か廃止のいずれかに位置づけるもの
	次期個別施設計画期間(2026~2035)の10年間における建物の取組内容
	・更新・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	・長寿命化 :長く使い続けるため、適切な時期に改修等を行うことにより耐用年数を延ばすこと
②取組内容(建物)	・維持補修 :部分的に劣化した部位などの性能、機能を実用上支障のない状態まで回復させること
世界祖内台 (建物)	・集約・複合化:(集約化)既存の同種の施設、(複合化)既存の異なる種類の施設の統合を行うこと
	・転用・譲渡等:建物を有効活用するため、建物を他の用途に転用したり、譲渡、貸付等を行うこと
	・解体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	・建物なし :他の施設を間借りしている場合で専有建物がない、又は民間施設を借用している場合
⑬方針	次期個別施設計画期間(2026~2035)の10年間におけるサービス・建物の取組の具体的な方針

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施	設概要	サーヒ゛ス 評価	建物評価	総合評価	取	7組内容	方針
				延床面積	1,584.23m²			A:継続	サービス	継続	
1 集会施	9	西田ふれあいセンター	西田	建築年度(経過年数)	2006 (20)	高	高			HAT HAT	地区公民館と行政センター等との複合施設であり、地域コミュニ ティの拠点施設として、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化
設				構造	RC造				建物	長寿命化	を図る。
				ランニングコスト(年間) 延床面積	6,123千円 548.08㎡						
1 集会施				建築年度(経過年数)	1989 (37)	· · 低	高	C:サービ	サービス	廃止	 入浴サービスは民間事業者においても提供が可能であり、その他の
設	31	西田地域交流センター	西田	構造	RC造			ス廃止			サービスも利用状況等に課題があることから、サービス廃止を検討 するとともに、建物の他用途への転用や譲渡を検討する。
				ランニングコスト(年間)	12,962千円				建物	転用・譲渡等	J CC OIC (EINVIENIE 1974A/II REAL CERTIFICATION
				延床面積	205.36m ²				サービス	rate i L	
1 集会施	103	西田公民館高野分館	西田	建築年度(経過年数)	1991 (35)	低	高	C:サービ ス廃止		廃止	「郡山市立公民館施設整備方針」の考え方に基づき、近隣の本館等 へ集約化を図り、当該施設でのサービス廃止について検討する。な
設	103		ш	構造	W造	IEV			建物	転用・譲渡等	お 施設の利用状況を駆すう 地域への譲渡を検討する
				ランニングコスト(年間)	975千円				2213	TM713 100.00.33	
				延床面積	115.93m ²	低	高	C:サービ ス廃止	サービス	廃止	 「郡山市立公民館施設整備方針」の考え方に基づき、近隣の本館等
1 集会施 設	104	西田公民館根木屋分館	西田	建築年度(経過年数)	1988 (38) W造						へ集約化を図り、当該施設でのサービス廃止について検討する。な
				構造 ランニングコスト(年間)	991千円				建物	転用・譲渡等	お、施設の利用状況を踏まえ、地域への譲渡を検討する。
				延床而積	77.60m²						
1 集会施			西田	建築年度(経過年数)	2006 (20)	- 高		• - 404.4-	サービス	継続	行政センター等との複合施設であり、地域コミュニティの拠点施設 として、計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
設	124	西田公民館		構造	RC造		高	A:継続	7=11.4L/m	=±0//	
				ランニングコスト(年間)	11,043千円				建物	長寿命化	
		西田公民館木村分館	西田	延床面積	-	. 低	-	-	サービス	廃止 建物なし	「郡山市立公民館施設整備方針」の考え方に基づき、近隣の本館等
1 集会施	140			建築年度(経過年数)	-				, ,,		
設				構造	-				建物		「へ集約化を図り、当該施設でのサービス廃止について検討する。
				ランニングコスト(年間)	35千円						
				延床面積	-				サービス	廃止	
1 集会施設	141	西田公民館鬼生田分館	西田	建築年度(経過年数) 構造		低	-	-			「郡山市立公民館施設整備方針」の考え方に基づき、近隣の本館等 へ集約化を図り、当該施設でのサービス廃止について検討する。
				ランニングコスト(年間)	35千円				建物	<u>建物なし</u>	
				延床面積	96.00m²					150.4.5	
2 四書約	4.6			建築年度(経過年数)	1974 (52)	-	_	A - 40/4±	サービス	継続	 他施設に入居している施設であり、主たる施設の方針に合わせ、利
3 図書館	16	中央図書館西田分館	西田	構造	RC造	高	高	A:継続	Z=11.H/m	E 主会ル	用状況を踏まえ、現状を維持する。
				ランニングコスト(年間)	1,184千円				建物	長寿命化	
				延床面積	10,238.08m²		高	A:継続	サービス	継続	
6 学校	78	西田学園義務教育学校	西田	建築年度(経過年数)	2017 (9)	高				MALAVU.	計画的な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
			ΙШ	構造	RC造				建物	長寿命化	
				ランニングコスト(年間)	98,836千円						

施設類型	類型別	施設名	地区	施設概要		サーヒ"ス 評価	建物	総合評価	取		方針
	No		<u> </u>	延床而積	661.03m²	部1四	評価				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
				建築年度(経過年数)	2005 (21)	-	高	E:あり方 検討	サービス	あり方検討	
7 保育所	17	西田保育所	西田	構造	W造	中					まえ、民営化の可能性を検討するとともに、民間認可保育所等の入 所状況を考慮し、公立保育所の役割や適正な規模・配置のあり方を
				ランニングコスト(年間)	79.645千円				建物	維持補修	検討する。
				延床而積	134.40m²						
8 放課後		 西田学園児童クラブ第1教		建築年度(経過年数)	2017 (9)	中	高	E:あり方 検討	サービス	<u>あり方検討</u>	 学校の余裕教室外にある施設であるため、学校の利用状況を踏まえ
児童クラブ 等	70	室	西田	構造	RC造						ながら、余裕教室への移転などを含めた施設のあり方を検討する。
,				ランニングコスト(年間)	7,502千円	1			建物	維持補修	
				延床面積	0.00m ²					± 10 ± 10=1	
8 放課後	71	 西田学園児童クラブ第2教	西田	建築年度(経過年数)	2006 (20)	中	-	E:あり方 検討	サービス	<u>あり方検討</u>	 学校の余裕教室外にある施設であるため、学校の利用状況を踏まえ
児童クラブ 等	71	室	四田	構造	RC造	1 11			Z=1+/m	Z#14/m +>	ながら、余裕教室への移転などを含めた施設のあり方を検討する。
				ランニングコスト(年間)	96千円				建物	<u>建物なし</u>	
			西田	延床面積	240.00m²	同	恒	A:継続	サービス	継続	行政サービスを維持するために必要な施設であることから、計画的 な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
11 庁舎等	14	西田行政センター		建築年度(経過年数)	2006 (20)				リーレス	mee no c	
11, 12, 12, 14	14			構造	RC造				建物	長寿命化	
				ランニングコスト(年間)	26,418千円				~10	EXA PP ID	
		西田第1分団第1班(丹伊 田西)車庫詰所	西田	延床面積	78.67m²	中	高	E:あり方 検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ 一た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を 検討する。
12 防災施	168			建築年度(経過年数)	1990 (36)						
設				構造	W造				建物	維持補修	
				ランニングコスト(年間)	564千円						
		西田第1分団第1班(丹伊田東)車庫詰所	西田	延床面積	50.80m²	- - 中 -	高	E:あり方 検討	サービス	あり方検討	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ 一た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を 検討する。
12 防災施 設	169			建築年度(経過年数)	1992 (34)						
DX.				構造	S造・SL造				建物	維持補修	
				ランニングコスト(年間)	324千円						
10 Bt ///th				延床面積 建築年度(経過年数)	48.03m ² 1993 (33)	-	高		サービス	あり方検討	 消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ
12 防災施 設	170	西田第1分団第2班(高 柴)車庫詰所	西田	構造	W造	中		E:あり方 検討			た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を
				ランニングコスト(年間)	302千円				建物	維持補修	検討する。
				延床而積	40.15m²						
12 防災施		西田第1分団第3班(土		建築年度(経過年数)	1982 (44)	-		E:あり方	サービス	<u>あり方検討</u>	 消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ
設	171	棚)車庫詰所	西田	構造	その他	中	低	検討			た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を 検討する。
				ランニングコスト(年間)	339千円	1			建物	物 <u>維持補修</u>	ישי ע ניםאון ישי עייסיי ע ניםאון ישי
				延床面積	36.00㎡			E:あり方 検討			
12 防災施	470	西田第2分団第1班(大		建築年度(経過年数)	1974 (52)		/rr		サービス	<u>あり方検討</u>	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ一た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を 検討する。
設	172	網)車庫詰所	西田	構造	W造	中	低		建物 維持補飢	****	
				ランニングコスト(年間)	260千円	1				維持補修	

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サーヒ゛ス 評価	建物評価	総合評価	取組内容		方針
				延床面積	45.25m²			E:あり方 検討	サービス	あり方検討	WIGHT DUE 1874 I
12 防災施	12 防災施 273	西田第2分団第1班(沢 田)車庫詰所	西田	建築年度(経過年数)	1977 (49)	中	低				消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を
äΧ		四)半净品剂		構造 ランニングコスト(年間)	W造 				建物	維持補修	検討する。
				延床面積	42.23m²						
12 防災施		西田第2分団第1班(町)		建築年度(経過年数)	1987 (39)	中		E:あり方	サービス	あり方検討	 消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ
設	174	車庫詰所	西田	構造	W造		高	検討			た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を 検討する。
				ランニングコスト(年間)	305千円				建物	維持補修	
				延床面積	96.88m²				サービス	+ n + 14=1	
12 防災施	175	西田第2分団第2班(平・	西田	建築年度(経過年数)	2020 (6)	ь	高	E:あり方 検討		<u>あり方検討</u>	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を
設	113	桜内・大平)車庫詰所	ΔШ	構造	W造	Т.			建物	維持補修	検討する。
				ランニングコスト(年間)	342千円				Æ18	##10 III IS	
				延床面積	86.11m ²	中	高	E:あり方 検討	サービス	<u>あり方検討</u>	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ 一た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を 検討する。
12 防災施 設	176	西田第3分団第1班(大 田・宮田)車庫詰所	西田	建築年度(経過年数)	2019 (7)						
DX.		山 白山/羊/半町//		構造 ランニングコスト(年間)	W造 				建物	維持補修	
				延床面積	394⊤⊡ 36.41㎡						
12 防災施		西田第3分団第2班(木 村)車庫詰所	西田	建築年度(経過年数)	1979 (47)	中	低	E:あり方 検討	サービス	<u>あり方検討</u>	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ
設	177			構造	W造					維持補修	→た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を 検討する。
				ランニングコスト(年間)	335千円				建物		
				延床面積	57.96㎡	ф	高	E:あり方 検討	+ レフ	- ビス あり方検討 建物 維持補修	消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえた、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を 検討する。
12 防災施	178	西田第3分団第3班(芹 沢)車庫詰所	西田	建築年度(経過年数)	1989 (37)						
設	110			構造	W造				建物		
				ランニングコスト(年間)	333千円				~210	##T/1 (18)	
				延床面積	42.23m	4			サービス	あり方検討	 消防団員数が減少する中、効率的かつ効果的な消防団体制を踏まえ
12 防災施 設	179	西田第3分団第3班(根木 屋)車庫詰所	西田	建築年度(経過年数)	1987 (39)	中	高	E:あり方 検討			た、消防車庫詰所や消防車両の適正な規模と配置についてあり方を
DX.		庄/ 丰净吅//		構造 ランニングコスト(年間)	W造 313千円				建物	維持補修	検討する。
				延床而積	57.96m²						
13 市営住			西田	建築年度(経過年数)	1959 (67)	1			サービス	廃止	 各入居世帯の意向について確認し、各入居者の生活設計等事情を考
宅	36	芹沢市営住宅		構造	W造	低	低	D:廃止			- 慮しながら、転居や他市営住宅への住替え等に向けた対応をし、退 去次第解体する。
			ランニングコスト(年間)	87千円				建物	<u>解体</u>	AWAJULIA 2 00	
				延床面積	26.65m ²			A:継続	+ 1/7	会を中	
15 公衆便	2	高柴デコ屋敷観光用トイ	赤 田	建築年度(経過年数)	2006 (20)	高	宣		サービス	継続	観光地に必要な施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を
所	۷	 	西田	構造	W造	同	高		建物	維持補修	行いながら現状を維持する。
			ランニングコスト(年間)	1,281千円				X±1///	₩E34.141 (18)		

3

施設類型	類型別 No	施設名	地区	施設概要		サーヒ゛ス 評価	建物 評価	総合評価	取組内容		方針
		ペグマタイト岩脈駐車場	西田	延床面積	8.00m ²		高	A:継続	サービス	継続	
15 公衆便	/1			建築年度(経過年数)	1992 (34)	高			, ,		観光地に必要な施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を
所	7	トイレ	пш	構造	S造・SL造				建物	維持補修	行いながら現状を維持する。
				ランニングコスト(年間)	605千円)生170	ME14.141 IS	
				延床面積	8.79m²				サービス	あり方検討	観光地に必要な施設として、引き続き利用状況を踏まえ、補修等を
15 公衆便	25	雪村公衆便所	西田	建築年度(経過年数)	1978 (48)	由	低	E:あり方 検討		<u>w 9711861</u>	行いながら現状を維持するとともに、利用実態、管理形態、市民
所	23	当114小区///	ПШ	構造	CB造				建物	維持補修	ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置を含め清潔で安全な公衆便 所のあり方について検討する。
				ランニングコスト(年間)	511千円				建 1初	NET A LIN IS	7/1000 7/11C 2V. C(Xel) 9 00
				延床面積	19.78㎡	高	低	B:建物更 新	サービス	継続	
16 その他	10	旧西田行政センター跡地 倉庫	西田	建築年度(経過年数)	1959 (67)						
施設	"			構造	CB造				建物	維持補修	き利用状況を踏まえ、補修等を行いながら現状を維持する。
				ランニングコスト(年間)	127千円				建 1初	WET A LINE ISS	
		教育研修センター	西田	延床面積	2,476.05m ²	高	高	A:継続	サービス	継続	行政サービスを維持するために必要な施設であることから、計画的 な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。
16 その他	50			建築年度(経過年数)	1982 (44)				, ,,		
施設				構造	RC造				建物	長寿命化	
				ランニングコスト(年間)	199,966千円						
				延床面積	5.69m²				サービス	あり方検討	
17 公園	145	中原広場公園	西田	建築年度(経過年数)	1988 (38)	中	高	E:あり方			利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置
				構造	CB造			検討	建物	維持補修	を含め清潔で安全な公園便所のあり方について検討する。
				ランニングコスト(年間)	905千円				Æ170	### 1 0 Hu FE	
				延床面積	7.20m ²			E:あり方 検討	サービス	あり方検討	利用実態、管理形態、市民ニーズ等を調査し、適正規模・適正配置 を含め清潔で安全な公園便所のあり方について検討する。
17 公園	146	木村公園	西田	建築年度(経過年数)	1997 (29)	中	高			F /3 WMJ	
		111177123		構造	W造	,			建物	維持補修	
				ランニングコスト(年間)	1,050千円				,		